



坂本小学校



三ヶ所小学校

議会です!

おのわD
あひませんか?

第69号

令和5年 7月10日発行

- 6月定例会・・・P2・3
- 一般質問・・・P4～P7
- 議会構成表・・・P9

ホームページはこちら▼



http://www.town.gok
se,miyazaki.jp/rikak
info/rikak.html

ボチッ
としておらん



鞍岡小学校



上組小学校

令和5年 第2回五ヶ瀬町議会定例会

令和5年度一般会計補正予算は1億2,650万円を追加し

総額 57億1,950万円 !!

令和5年度一般会計補正予算の主な内容は次のとおりです。



飼料代の助成



学校給食費の助成



三ヶ所地区忠霊塔



11区広瀬地区

主なソフト事業

事業名	事業費	事業内容
プレミアム商品券 発行事業補助金（企画課）	1,800万円	プレミアム商品券発行に係る補助金
低所得者の子育て世帯生活 支援特別給付金（福祉課）	225万円	低所得の子育て世帯に対して1世帯5万円の支援を行う （ひとり親世帯以外）
飼料高騰対策事業 補助金（農林課）	546万円	配合飼料高騰による畜産農家の負担軽減のために飼料代の 助成を行う
学校給食物価高騰支援 事業（教育委員会）	82万円	給食物資の価格高騰に伴い給食費の値上げ分の補助 小学校 50万円、中学校 32万円
忠霊塔移転慰霊碑設置 補助金（福祉課）	460万円	忠霊塔及び戦没者慰霊碑の移転設置に係る補助金

主な投資的事業

事業名	事業費	事業内容
高速道路対策費 （建設課）	600万円	土捨場整備委託料 250万円 用地購入費 150万円 立木補償 200万円
県単土地改良事業 （建設課）	551万円	要望調査実施したもののうち早急な改修が必要と 見込まれる農道の舗装改良（11区広瀬地区）

令和5年第2回五ヶ瀬町議会（定例会）議決結果

議 案 件 名	議決の結果
専決処分	
五ヶ瀬町税条例の一部改正 五ヶ瀬町国民健康保険税条例の一部改正 令和4年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（専決第2号） 令和4年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算（専決第1号） 令和4年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号） 令和4年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（専決第1号） 令和4年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号） 令和5年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（専決第1号）	承認
報告	
繰越明許費繰越計算書について（五ヶ瀬町一般会計）	※報告のみ
人事	
五ヶ瀬町固定資産評価審査委員会委員の選任同意（2件） 五ヶ瀬町農業委員会農業委員の任命同意（10件）	同意
条例の一部改正	
五ヶ瀬町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 公の施設に関する条例の一部改正	原案可決
令和5年度五ヶ瀬町補正予算	
一般会計補正予算（第2号） 国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
その他	
延岡・西臼杵地域成年後見制度利用促進基本計画検討協議会共同設置に係る規約の制定に関する協議について 工事請負契約の締結について	原案可決

各議員の表決結果（○：賛成、●：反対、欠：欠席、―：議長 ※議長は賛否に加わりません。）

議 案 (全員賛成の議案は除く)	本 田 俊 徳	矢 野 宏	甲 斐 義 則	小 笠 原 将 太 郎	太 田 保 義	田 中 春 男	渡 邊 孝	佐 藤 成 志	甲 斐 政 國
令和5年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第2号)	○	○	欠	●	●	○	○	○	―



おがさわら まさたろう
小笠原将太郎議員

西日本新聞社に委託した世界農業遺産事業の効果は？

問 経緯と予算、その効果は。

町長

グリーンツーリズム事業や観光事業等が福岡をターゲットとしているので、西日本新聞社に協力を頂いた。

企画課長

五ヶ瀬ブランド策定、ジビエ解体調理技術講習会、宿泊業及び茶農家との意見交換、町内事業者向けマーケティング・ブランディング研修会、特産品レシビの開発、ジビエ普及に関するワークショップ、福岡の情報誌「ファンファン福岡」及びSNSへのスキー場のPR、特産センターへの商品陳列のアドバイス等、事業者向けマーケティング・ブランディング研修会、写真撮影講座、素材収集及び本町特産品の福岡市内での販売を行った。

問 総事業費の総額は？

企画課長

総事業費で1,895万円となっている。

問 2,000万円近い金額を投入して得た効果は。

町長

スキー場は、西日本新聞でPRを行い集客に一定の効果があったと考えている。他の事業についても、効果はあったと思っている。

問 具体的に数字として、効果を確認する方法はないのか。

町長

観光客や交流・関係人口が増えた具体的な数字は現時点ではない。

問 2,000万円近いお金を使って、「増えたのではないか。」などは、一般の企業では考えられない。

町長

効果は今からある。2,000万がいかに無駄だったという評価ではないと思う。やらなければ後に効果はでないという思いで取り組みをさせていたのだ。

森林環境譲与税でデータセンターの誘致を

問 長期展望の森林経営・管理が必要だ。税の活用方法は。

町長

森林経営意向調査など森林経営管理制度を進め、水源涵養や災害防止など、効果的な事業を検討したい。

問 子供たちに残す未来の環境をつくる大切な財源である。データセンターの誘致をして地球温暖化の抑制に協力してはどうか。

町長

環境譲与税が使えるかどうかも含め、提案としてお聞きします。



かい よしのり
甲斐 義則議員

町道管理について

問 町道管理者としてどのような考えを持っているのか。

町長

道路法の第3章第16条にあるとおり市町村道の管理者は、その道路の存する市町村が行うという事で認識を持ってやっています。本町における町道については、現時点では限られた予算ではあるが、道路を良好な状態に保つよう維持し安全性を確保して交通に支障を及ぼさないように最大限努めている。

問 危険個所の調査、道路パトロールは定期的に行われているか。

建設課長

五ヶ瀬町維持管理補修計画に伴い実施している。月2回程度隔週で行う定期パトロール、日常の業務の移動の中での状況確認、異常気象や災害発生時のパトロールとして被害状況の確認を行っている。危険個所については総務課、西臼杵支庁と合同での町内危険個所の点検を行い、対策・協議を行っている。

問 町道に隣接した空き家があり、強風や地震等で壊れそうである。町道を管理する者として、何らかの対処が必要ではないか。

町長

基本的には危険を知らせるということは大それたと思うので、早急に対応したい。

問 町道の維持補修は計画性をもって行われているか。

建設課長

維持管理計画に基づき、異常個所の確認後に直営の補修を行う簡易補修、パトロールの結果により補修・修繕を実施する応急補修を行い、その他については安全性を確保しながら、補修工事の検討及び計画を立てながら工事を実施している。

問 地域別または、行政区別に計画を立て、町民に説明できるような計画を立ててはどうか。

建設課長

頂いた情報を基に計画しながら補修を行っているところである。町民への説明や、いつ頃できるという回答が不十分な面があると思う。そういった面には十分注意して、今後整備を進めていきたい。

町道は町民を支える最も基礎的な社会資本であり、社会経済活動を支える重要な役割を担っている施設である。予算をつけて頂き、町民の快適な生活環境の維持のため安全な道路の維持管理と計画的な整備、更新に努めて頂きたい。





わたなべ たかし
渡邊 孝議員

五ヶ瀬町ゼロ・カーボンシティ実現への取り組みについて

問 令和3年10月1日「五ヶ瀬町ゼロカーボンシティ」が宣言されました、目標達成のためにどのような取り組みが実施されたのか

町長

スマートライフプランを策定し、各種施策を展開してきたが、計画の進捗が主に森林資源の活用にとどまったと感じている。

問 今後、具体的にどのような施策を実施される考えか、実施計画について伺います。

地球温暖化防止について

町民課長

合併浄化槽の普及促進に努め、引き続き地球温暖化防止推進活動を支援し、啓発活動を行う。

問 循環型社会について

町民課長

燃やすゴミの減量化のために、生ごみ処理機とコンポストによる堆肥化の推進を行っている。

問 鞍岡ぎおんの里づくり協議会、鞍岡大好き女子会が中心となって、鞍岡よかんど（生ごみ堆肥）作る活動をされているが、町長の率直な感想は

町長

非常に素晴らしい取り組みである。今後一緒にやれる部分については、やりたいと思っている。

問 再生可能エネルギーについて

企画課長

移住者向け住宅建築支援事業において、太陽光パネル設置加算を設けている。また、公共施設等においても、太陽光パネル設置の検討を開始したところである。

問 町発注の住宅建設においては、断熱材の機能には一定の基準が必要と思うが、その考えは

町長

断熱材は非常に大切と思っている。十分な断熱効果を得る物を設計・施工の中で取り入れている。

問 環境教育及び意識啓発について

教育次長

自然の豊かさや恵みについて学ぶ体験や機会を作っている。また、五ヶ瀬の自然環境、資源、再利用、4R活動など、様々な観点から五ヶ瀬を見つめ、将来像をデザインする活動を実践している。

問 五ヶ瀬町ゼロカーボンシティへの思いとは

町長

豊かな自然と伝統ある住民の暮らしを継承しながら、地域振興を図っていき、環境と経済を両立させていきたい。



たなか はるお
田中 春男議員

今後の公民館運営について

問 五ヶ瀬町においても高齢化が進み、組長のなり手が不足している状況にある。組の合併等について見直しをすべきではないか。

町長

人口減少、少子高齢化により行政区内や地域の行事等の運営に支障が出てくるのが予想される。過去に地域組織検討員会で議論を行い、アンケート調査も実施し、14の行政区については当面現行の制度のまま、組については主体性が地域にあることから統廃合、新規設置は主体的に行いましょうという結論になっている。

問 戸数が数軒あるとしても、実際には2、3名で組長の仕事をされている地区もあると思われる。まとまった地区の見直しについて、行政側から提案して進めると言う事は出来ないのか。

町長

区の内情については館長が一番詳しいので、館長を中心に話し合いをされていくのがいい方向ではないかと言う事で現在はそのような状況になっている。

問 平成28年度から行政組織の在り方について検討されたとの事だが、再度公民館長を含めた検討会も必要と考えるが。

町長

検討委員会を作らずとも、館長会で意見を伺うとか当時の状況から変わっていないのかという事も含めて議論をさせていただきたい。

問 ほかにも地域運営について町長の考えがあればお願いしたい。

町長

小学校単位くらいで、いくつかの区がひとつの運営組織を作って地域の課題を解決していくという事を進めているところもある。区を残しつつも新たな課題の解決には新たな組織が必要ではないかという事は議論させていただいている。

問 公民館敷地料について、個人の土地を借りて賃料を支払い運営されている公民館もあるが、賃料の助成は出来ないか。

町長

建設に当たってはそれぞれの区より申請があり、補助事業等により建設し、建設当初から現在のようになっているという事で理解をしている。

町の方で助成をするという事は現時点では考えていない。





さとう せいし
佐藤成志議員

農林業へのこれから の取り組みは

町長

中山間協定での集落戦略を策定する

問 国の基幹産業である農林業は高齢化、担い手不足と言われて久しく、本町も例外なく衰退の一途をたどっている。今後どのような施策にて問題解決に取り組むのか。

町長

地域計画及び中山間協定単位（55協定）での集落戦略を策定する事が義務化された。地域計画と集落戦略を兼ねることが可能となった。

まずは、それぞれの協定単位で、5年・10年後の協定内の農業を農地をどう守っていくか話し合い活動を行ってほしい、中心的な担い手の位置付けなど、協定の方針・将来像を決定し、その内容を示した目的地図を作成することになる。

新規就農者支援事業を活用した担い手確保対策、スマート農林業も地域おこし協力隊を活用して本町に合ったスマート農林業の確立を目指す。

問 この問題は特効薬の無い非常に息の長い取り組みとなるので、行政が手助けしなければ更に加速する。農林課内での相談窓口、第3機関の相談窓口の計画は。

農林課長

農林課の窓口になるが、農業委員会・県・JA等も一緒になった窓口を作り推進していきたい。まずは農林課内での相談窓口対応とし、地域に入って話し合い活動も進めていきたい。

問 中山間協定に入っていない人たちも町内にはかなり点在する。その人たちをどう支えて行くのか検討はなされているのか。

農林課長

どうやって進めていくのかは検討中。支庁の担当のチームに相談し協議している。

問 以前に「第一次産業プロジェクトチーム」が設置されたが、その後の展開は

町長

令和2・3年度において、アンケート調査及び地区別座談会を実施し、それぞれの地域の課題を確認し報告書を作成した。その後プロジェクトチームは解散している。今後は地域計画の策定に伴い、報告書を参考にしながら、それぞれの地域にある課題を解決する為に話し合い活動を推進し、本町の持続可能な農林業を目指す。



ほんだ としのり
本田俊徳議員

児童生徒数の減少対策について

問 高千穂高校と連携して新入生確保の対策等を行っているのか。

教育長

高千穂高校魅力化推進委員会があり三町首長、教育長、学校代表、PTA、議員が参加して西臼杵地区の後継者づくりのための重要な学校ということで、様々な対策会議が進められている。同時に子供たちの将来の夢に向かって最善の進路を、学校、保護者と話しをしながら決定している。

問 山村留学の受け入れ等の考えは。

教育長

地域で組織された実行委員会等が主体で実施しているケースがある。プラスの面がある一方、課題もある。今後の学校の在り方について様々な面を考慮して検討していく必要がある。

問 一、二週間のショートステイで生活体験を留学につなげてみる考えは。

教育長

教育委員会が主導するケースはない。例えば学校見学会等の機会が取れば検討していきたい。

五ヶ瀬町の観光PRについて

問 五ヶ瀬町地域活性化拠点エリア整備構想から切り離して、白滝、うげの滝も含めて「滝の町五ヶ瀬町」として整備を進める考えは。

町長

現時点では、うのこの滝の整備を構想から切り離して独自に整備を行う方向性はない。

問 今後の方針等は。

町長

岩神側は階段を設置、川曲側は、樹木を伐採し景観を良くした。道路については、集落までが町道であり、その先を町道に編入整備する予定はない。

問 五ヶ瀬瀨町内に点在している滝を観光につなげる様な考えは。

町長

現時点でやらない方向ではない、資源を調査しながらそれぞれの滝の活用を含めて議論していきたい。





おおた やすよし
太田保義議員

坂本小学校崩壊箇所の

安全対策について

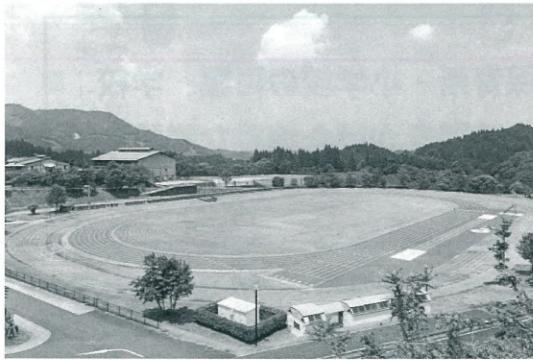
問 昨年台風14号の被害により校庭の一部が崩壊している。半年以上経過しているが十分な安全対策はなされていない。多額の費用をかけなくても安全対策は措置できるのではないか。

教育長

児童への指導を徹底してきたこともあり、現在児童のほとんどは当該箇所に近寄ったりしていない。学校と協議の結果、ネットつきロープに加え新たに手前に立ち入り禁止のロープを設置し2段構えにした。

五ヶ瀬町Gパークの象徴となるモニュメントを設置してはどうか

問 Gパークは恵まれた環境にある。来場者等の記憶にそして記録に残るような五ヶ瀬町らしさのあふれるモニュメントを設置してはどうか



教育長

木地屋前からの素晴らしい景観など特段のモニュメントが無くても記憶に残すことは可能と考える。施設管理の充実に努め、利用していただく面から記憶に残す取り組みを続けて行きたい。



やの ひろし
矢野 宏議員

災害復旧工事の進捗状況

について

問 昨年の台風十四号災害による復旧工事の進捗状況について。

町長

現在は国の災害査定を受け、緊急性や状況を考慮しながら復旧へ向けて工事発注を進めている。

建設課長

農地・農業用施設については、発注は72ヶ所終え、五月末合計17ヶ所完成検査を終えている。町道については河川も含めて合計29ヶ所を発注、順次施工している状況である。

農林課長

林道災害は補助災害復旧事業の発注済みは全て6月中には着手予定。残りは9月までに発注。単独災害復旧事業も9月までには発注したいと考えている。

問 スキー場へのアクセス道の復旧状況と今後の見通しについて

建設課長

波帰集落からパーキングセンターまでの災害4ヶ所の内1ヶ所は工事に着手。大規模被災の箇所は、地滑りの兆候が見られるのでボーリング調査を行い観測している。今後は、梅雨時期の状況を注視し工法を検討していく。

企画課長

国管轄の波帰国有林道の災害については、別ルートの整備が完了。現在設計の段階との情報である。

問 スキー場の今シーズンの営業については。

町長

基本的にはオープンに向けてパーキングセンターまでの復旧を進め間に合わせたいと考えているが、現時点では梅雨時期の地滑り箇所の兆候を注視し、判断の材料としたい。

今後の小学校の在り方について

問 現在及び6年後の児童数の推移について伺いたい。

教育長

現在小学校4校で127名、6年後は8名とかなり少なくなる見通しである。

問 少子化が加速している中、今後の小学校の在り方についての考えは。

教育長

第一に子供の教育、新しい時代の学力に対応する教育がきちんとできることが重要だと考える。小学校は伝統文化の継承の場、地域活性化や防災の拠点という視点もある。学校運営協議会を中心に様々な視点から意見を求める機会を設けて、五ヶ瀬町の学校教育の形を検討していく。

事業予算について

昨年の台風災害復旧費として、約 13 億 6500 万円が計上され、投資的大型予算となった。自主財源 19.1% に対し、地方交付税を主体とした依存財源が 80.9% とその割合の多くを占め財政基盤の弱さがうかがえる。

町有林・町有地を有効に活用した事業を推進し、ふるさと納税寄付金等の増収に積極的に取り組み、財政の安定・健全化を図るべきと考える。

事業の効率化について

今後、少子化が進み、児童数の減少が予想される。保育所・小学校の再編、学校給食の問題が予想されるが、住民の様々な意見を聞き、時間をかけた慎重な議論をお願いする。

住宅建設に関して

既存の住宅の整理・整備を行うと共に、住宅用地としての分譲も含め、民間活力の導入も視野に入れた新規の整備をお願いする。

第 3 セクターの検証について

実質的な経営者である五ヶ瀬町が指定管理委託業者の監視体制を強化し、徹底した指導を行う必要がある。また、経営検討委員会によるより細かい詳細把握と経営不振の究明も必要であり、早急に総合的、抜本的な経営改善することが経営の健全化につながると判断する。

現状は、町からの委託管理料と事業継続支援給付金によって経営が成り立っている。町民に負担をかけないよう、五ヶ瀬町・委託業者それぞれが最善の努力をすることを願う。

行政事務について

新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種業務においては、担当課職員はもとより多くの職員や協力者により適切なワクチン接種が実施されました。また、甚大な被害をもたらした昨年の台風 14 号の対応に休日出勤や時間外勤務で対応された担当職員や関係者の方々に心から敬意と感謝を申し上げます。

この町が暮らしやすい住み良い町となり次の世代が安心して暮らせる町となるよう、職員一丸となり、住民サービスのさらなる向上となるよう期待する。

五ヶ瀬町議会構成表

(令和5年4月28日現在)

議 長	甲斐 政國
-----	-------

副 議 長	佐藤 成志
-------	-------

議会選出 監査委員	佐藤 成志
--------------	-------

総務農林常任委員会	
委 員 長	甲斐 義則
副委員長	太田 保義
委 員	甲斐 政國
委 員	矢野 宏
委 員	本田 俊徳

※5名

文教福祉常任委員会	
委 員 長	田中 春男
副委員長	渡邊 孝
委 員	小笠原 将太郎
委 員	佐藤 成志

※4名

議会運営委員会	
委 員 長	渡邊 孝
副委員長	太田 保義
委 員	甲斐 義則
委 員	田中 春男

※4名

議会広報編集委員会	
委 員 長	小笠原 将太郎
副委員長	太田 保義
委 員	渡邊 孝
委 員	田中 春男
委 員	甲斐 義則
委 員	矢野 宏
委 員	本田 俊徳

公立病院の広域医療等に関する特別委員会	
委 員 長	田中 春男
副委員長	渡邊 孝

※全議員で構成

行財政改革特別委員会	
委 員 長	渡邊 孝
副委員長	小笠原 将太郎

※議長を除く8名で構成

九州中央自動車道整備促進対策特別委員会	
九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会	
委 員 長	佐藤 成志
副委員長	甲斐 義則

※全議員で構成 委員長(副議長)
副委員長(総務農林常任委員長)

新庁舎建設調査検討特別委員会	
委 員 長	佐藤 成志
副委員長	甲斐 義則

※全議員で構成

五ヶ瀬町森林・林業活性化協議会	
会 長	甲斐 義則
副 会 長	太田 保義
幹 事	小笠原 将太郎
幹 事	田中 春男
幹 事	渡邊 孝
幹 事	佐藤 成志
幹 事	甲斐 政國
幹 事	矢野 宏
幹 事	本田 俊徳

病院運営協議会	
田中 春男	
渡邊 孝	

※文教福祉常任正副委員長が兼ねる

国保運営協議会	
田中 春男	

※文教福祉常任委員長が兼ねる

西臼杵広域行政事務組合議会議員	
甲斐 政國	
甲斐 義則	
田中 春男	

※議長、両常任委員長が兼ねる

宮崎県北部広域行政事務組合議会議員	
甲斐 義則	
田中 春男	

※両常任委員長が兼ねる

～ 九州中央自動車道の早期開通をめざして設立総会～

九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会

私達と将来の西臼杵の人々のために

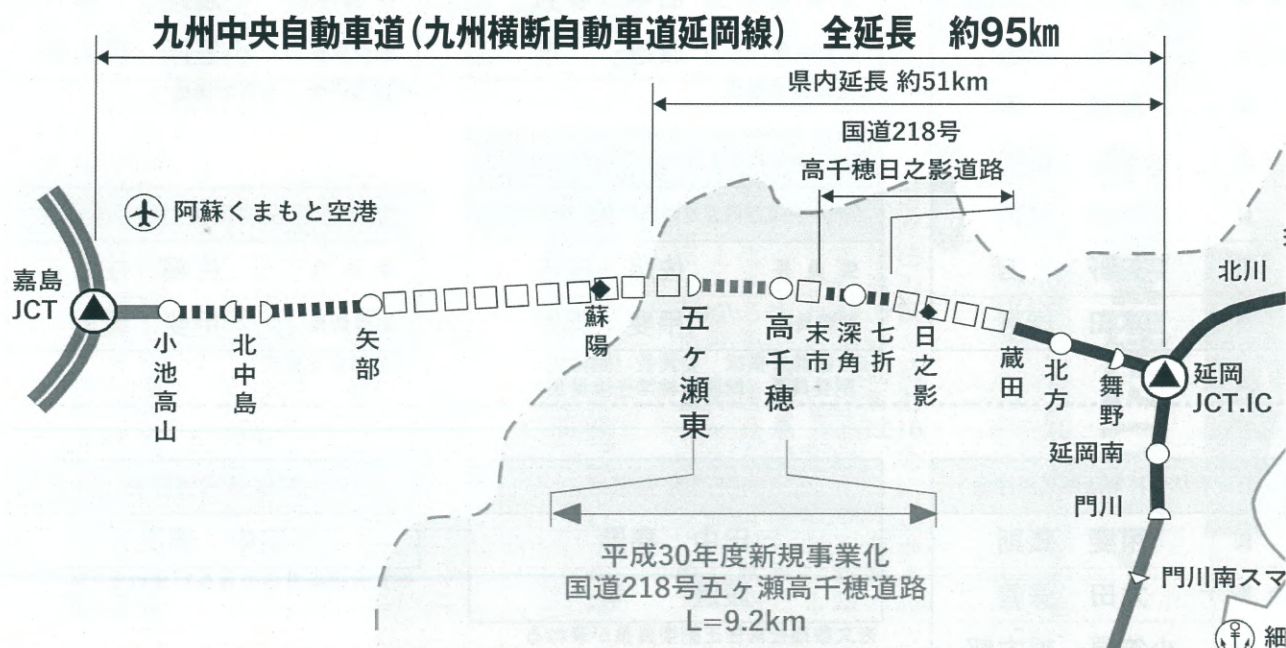
令和5年6月15日（木）の日の影町「町民ホール」において、西臼杵3町の議員による九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会の設立総会が開催されました。この特別委員会は九州中央自動車道の早期全線開通を期することを目的としその目的を達成するために、関係情報の収集、国等への要望活動を行います。

名称、目的、事業、構成、役員などの趣旨説明がなされ審議の結果全議員の賛同により設立が承認されました。

最後に郡議長会会長甲斐政國議長のあいさつで終了しました。

甲斐政國議長挨拶

会議終了後には、国土交通省延岡河川事務所から、現在の関係事業の進捗状況についての説明もありました。現在は5区室野地区において事業が進められています。



町民からの声おやすみのお知らせ

町民の皆様へ

皆様からのご意見を伺うための、ハガキコーナーは、今回は誌面の都合上省略させていただきました。

次号には掲載させていただきますので、ご理解のほどなにとぞよろしくお願いいたします。



五ヶ瀬町小中学生議会傍聴

令和5年6月8日、第2回定例会の一般質問の傍聴に町内小中学生が来場しました。

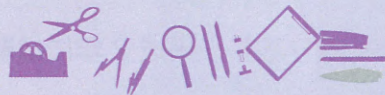
10時から小学6年生（上組4名・坂本4名・鞍岡4名・三ヶ所10名）。11時から五ヶ瀬中1年生（18名）がそれぞれ真剣なまなざしで議会を傍聴しました。

議場では一般質問が行われ、出前授業で学習した町議会の流れを復習しながら議員の質問に聞き入りメモを取る6年生の姿がありました。

また、小笠原議員からの質疑終了後、出前授業で受けた子供たちからの要望を町長に伝える一幕もあり、子供たちも自分の意見が実際に議会で披露されたことをうれしく感じたのではないのでしょうか。子供たちの将来に期待します。



出前授業



出前授業を行いました!!

町内の6年生の皆さんへ「議会」について授業を行い、生徒の皆さんからは町への要望もお聞きして表紙に掲載しました。この中から、将来の議員が誕生するといいいですね!!



夕刊デیلیーが取材にきました



新議員紹介

congressman Introduction



第14区 鞍岡波帰
矢野宏 60歳

今、地方議員の存在意義が問われています。その責任を果たすべく常に地域の皆さまの声に耳を傾け、一人の生活を改善するために努力してまいります。



第4区 廻淵日陰
本田俊徳 59歳

志を持って職務を全うします。

今どきの若いモン

人口が減っている五ヶ瀬町を若い世代で盛り上げたいと、今年福岡から帰郷し、4月からごかせ観光協会に勤める天陽さん。中学校・高校時代は野球部に所属し、現在も地元のチーム室野パイレーツで仲間と共に野球を楽しんでいる。

観光協会では集落支援員として、農泊とごかせマルシェ号での移動販売を担当。現在は5月から始まった移動販売業務を中心に、新規事業を軌道に乗せようと頑張っています。「社会人1年目ですが、不安がらずに度胸と胆力を持って任された仕事に取り組んでいく」と力強く語る。『五ヶ瀬町に望むことは』の問いに、「五ヶ瀬を離れていった人達が帰ってきたり、新しく移住してくる人が増えて、活気あふれる五ヶ瀬町になってほしい」と話してくれました。

五ヶ瀬町室野
甲斐天陽さん (22歳)
ひゅう



**町内全域も移動販売車で回って来ます。
見かけたら気軽に声をかけて下さいね。**

..... 地域 の 話 題

五ヶ瀬駐在所連絡協議会「赤谷住人友の会」 カーブミラー清掃

昭和41年に友の会が設立され、平成2年には駐在所連絡協議会を発足し現在まで58年間、赤谷地域の発展と安全のために活動を行っています。

河川の清掃や町道のゴミ拾いなどの地域活動や交通安全指導などの活動を定期的に行っています。

カーブミラー清掃の後に行われた会員総会には、高千穂警察署から署長や署員の方々にご出席いただきました。

警察の方々とも連携し、五ヶ瀬がより安心安全な町となるよう努力しています。



編集後記

アジサイの花も満開になり、本格的な梅雨がやってまいりました。日本全国では局地的に大雨が降り災害が発生している状況にあります。いつ我が身に降りかかってくるかもしれません。日頃から、災害に対する備えが必要だと感じるこの頃です。

さて、議会においても2名の欠員が続いておりましたが、この度の補欠選挙において新議員2名が当選し、定員の9名体制で議会運営を行う事が出来ております。五ヶ瀬町を良くしたいという思いは議員全員が考えている所でございます。今後とも、町民の皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

発行責任者
議長 長 甲斐 政國
議会広報編集委員会
委員長 小笠原 将太郎
副委員長 太田 保義
委員 渡邊 孝
委員 田中 春男
委員 甲斐 義則
委員 矢野 宏
委員 本田 俊徳